

## 生徒の感想

- ・ニュースを見るときは、ただ単に「すごい」「気持ち悪い」「かわいそう」等と思うだけでなく、なぜそんなことをしたのか、なぜこんなことになったのか、被害者や加害者の気持ちは？と色々な視点を持つことが大事なんだなと思った。普段あまり新聞は読まないけど、これを機に読んでみようと思った。
- ・様々な物事に対しての事象に疑問を持つということは、講師の方がおっしゃっていたように多角的な目線を持つことができるという利点に加え、疑問を考えることにより思考力が上がり、ネットリテラシーの真偽も判断しやすくなると考えることができた。
- ・普段新聞を読むことがなくて新聞記者の仕事はどんな感じなのか一切知らなかったけど講演を通して新聞記者の仕事の内容や重要な事、記事が社会や人に与える影響などを具体的に知ることができて新聞の大切さや新聞記者の仕事の大変さについて学ぶことができた。
- ・社会にはたくさんの情報がまわっていてその情報に疑問を持つことが大切だと学ぶことが出来ました。そして弱い人の立場から考えてみたり、あらゆる視点から見ることが大切だということを学ぶことが出来ました。今回の学べたことを生かして情報に騙されないようにしたいと思いました。
- ・最後に言っていた自ら考える姿勢を大切にすることとはこれからたくさん生かせることだなと思いました。拡散されたものは真実とは限らないし、新聞記者として偏った考え方をせず、価格的な視点を持つということに共感しました。あまり、新聞などは読まないのでもっと社会を知ろうとする姿勢を意識していきたいです。
- ・今回の講演では多角的な視点を持つことの大切さと弱い人の立場になって考えることの重要性を学びました。今回配られた記事では三者の視点で書かれていて、事件について考えさせられました。今後事件のニュースを見たときはなぜ加害者は事件を起こしてしまったのか、被害者はどう感じているのか、加害者の関係者の気持ちなどを考えて人の視点に立って物事を考えられる人になっていきたいと思いました。
- ・"多角的な視点を持つことは新聞を常日頃読んでいるので大切にしていますが、今回の講演で登場した人の過去を探ることも大切と言っていて、その人の生い立ちや、事象の経緯を知ることがこれから大切にしていきたいと思いました。また、情報を得るためにその場に足を運び自分の目で見えることを頑張っていきたいと思います。
- ・新聞記者の話を聞く機会は滅多にないが今回初めて話を聞くことができてよかった。毎日当たり前のように目にしている新聞だがその裏側では新運記者の方が様々な観点から一つの事象について追求してそのことを自分たちの手元に届けてくれている。また今後自分が文章を書く際に役立つことも教えていただき自分のためになることばかりだった。今日学んだ事を無駄にする事なく今後活かしていきたいです。

- ・新聞記者として多角的な視点を持つことが大切だということに気づくことができました。今まで新聞記事を読むときには、何も考えずに読んでいたけど今回多角的な視点を持ち記事を書いていることを知っている状態で記事を読むとより内容が入ってきました。また、新聞記事は取材、原稿を書く、記事が載る過程で何回も正確な情報かを確認していることを知り、新聞の信頼性がより高まりました。これから、自分が記事を書くときには多角的な視点を持ち本当にその情報が合っているかを確かめながら書いていきたいです。
- ・今回の講演会を通して私は多様な視点を持つことが大切だと思いました。多様な視点を持つことでニュースなどを見た時にすごいな、気持ち悪い、かわいそうなどの考えだけで終わらすのではなく、その出来事に対してなぜその出来事が起こってしまったのか周りからの影響はあったのかなど考えることが大切で自分の考えを深めていけると思いました。ネット上でも間違った情報が出回ることがあるので全部を信じてしまうのではなく本当にそうなのか、根拠はあるのかなどファクトチェックが大切だと知りました。ファクトチェックができるようになると将来間違った情報に流されることなく正しいことを知ることができ、間違ったことをすることがなくなると思いました。
- ・今回の講演会を通して、ニュースや新聞において事件系をみたときの感想（偏見）をただ持つのではなく「どうして～になったのか」といった疑問や「じぶんだったらどう思うのか（被害者の視点）」といった弱い人の立場なってみるなど様々な視点で見ることが大切だと学んだ。現在のコロナ禍で社会が不安定の中、ニュースやネットなどで視点を変えながら見たい。また、勉強においてもいろんな角度から見て答えを見つけやすいようにしていきたい。
- ・私は新聞を読んでおらず、NIE を通じて毎週金曜日の朝が少し楽しみでした。今回、記者さんの講演会を聞いて新聞の正しい読み方・SNS との向き合い方を学ぶことができました。新聞を読むときに被害者の人について考え、事件をただ知るだけではなく、加害者や加害者遺族の人たちの立場など、さまざまな人の立場を考えながら新聞を読んでいきたいと思います。ネット情報との向き合い方は、SNS に流れているから本当の情報と考えずに、自分の目や頭を使って情報の真偽を確かめられるようにしていきたいです。今回の講義を終えて、何げなく聞いていたニュースや新聞の内容を書いてあることだけを考えるのではなく、そこから様々なことを考えていきたいです。
- ・新聞記事を書くにあたって、さまざまな角度で物事を考え、伝えることが大切だと知ったけど、これは友達と話している時や授業中のことなど相手の気持ち、周囲の気持ちを考えたりして、自分の行動は周りにとってどう思われているのかなど、普段の生活でも大切なことだと思いました。
- ・講演会を通して、社会にはさまざまな人がいてさまざまな人の立場があることを知りました。新聞記者の人は、その人の立場に立って考えることが大切だと学びました。多角的な視点を持つことで見えてくるものは違うと思うし、一人一人考えることが違うので視野を広くしていきたいと思います。
- ・新聞記者の仕事の大変さが伝わってきました。私達が普段読んでいる記事は新聞記者の方が今社会で起こっている様々な事象を様々な角度からあらゆる視点で見たことがまとまっていると考えたらより新聞を読みたいと言う気持ちが増していきました

- ・今までは、朝用意をしながらニュースを見たりして、どんな事件があったかを知っても加害者に対してなんでそんなことをするのかと怒るだけだったけど、今回の講演を聞いて、考え方を変えてみようと思いました。加害者が犯罪をしてしまったことに変わりはないし、被害者がいなくなるわけでもないけど、加害者はなぜそんなことをしてしまったのか、何が原因で事件が起きてしまったのかももう少し真剣に考えてみようと思いました。また、ネットで流れてくる情報を何もかも鵜呑みにするのではなく、自分で考えて、見極められるようになろうと思いました。社会で起きている物事を多角的な視点で見ることの大切さを知ることができてよかったです。
- ・自分が嫌やなで済ませていた犯罪で被害者が一生苦しむことになったら加害者もその犯罪を止めることができなくなったりと言うことを今日初めてしてそれで終わりじゃなくて細かいところまで聞いて記事として世に発信することで周りの人たちの理解も深められる新聞記者さんはすごいと思った。ファクトチェックをすることでデマやフェイクに騙されないようにする力もこれからの生活には必要不可欠だと思ったのでいろんな記事などを読んで調べることで何が正しいかを判断したい。
- ・今回の講演を通して新聞の読み取り方のコツやその新聞の裏に隠れたメッセージなどがあるということを知れて良かったと思います。また、盗撮の記事に関しては被害者や加害者、加害者のパートナーなどの様々な視点から書いていたのでより分かりやすい記事になっていた。そして、長い期間の取材をしていたのでより詳しいことが書かれているが分かりやすいように工夫されており読みやすい記事となっていた。新聞を読むと自分の視点だけではなくその記事を書いた記者の視点や取材した人の視点を取り入れることができるのでとても有効な物だと感じた。また、SNSの普及に伴いフェイクニュースやデマなどが簡単に拡散され自分にもそのような情報が入って来た時に一つの情報だけで判断せずにできるだけ多くの情報を参考にしてその情報の真偽を見抜けるような人になっていきたい。今回の講演を受けて情報の取り扱いをもう少し意識したいと感じた。
- ・私の家は新聞をとっているのに私はあまり新聞を読んだことがなくて、今日中田さんの話を聞いて1枚の記事をつくるのに何時間もの時間と労力がかかっているんだと知ることができました。夕飯時によくニュースを見ていたけれど中田さんのように何故この人は罪を犯してしまったんだろうと考えたことはなくて、そのニュースに対して私なら絶対のこんなことしないのにな、と思っていました。でも加害者にも罪を犯してしまったきっかけがあっても二度とそんなことをしないようにと再犯防止のために、加害者の周りにいる人たちが支えていくことも大切なんだと思いました。今の時代自分の意見を軽率に発信できてしまう世の中になってしまって、フェイクニュースに騙されないように自らこのニュースは正しいのかと考える習慣をつけようと思いました
- ・今まで新聞に触れることがあまりなかったので、新聞記者の方にお話を聞くことなんかほぼ初めてだったけど、今回の講演を通じていろいろなお話を聞くことができた。特に印象に残っているのは、いろいろな目線から物事を見るという考え方だ。今までは痴漢や盗撮、窃盗などの事件についてニュースを見ると、気持ち悪いや自分は絶対にやらないようにしようなどとしか考えたことがなかったけど、今日を通じて今後は、どうして犯罪に至ったのか、その身内の人や家族はどんな気持ちなのかなどを考えてニュース記事を読み取っていきたいと思う。

- ・新しく学んだこと、知ったことは社会には様々な人がいると多角的な視点をもつということです。今までとはニュースの見方が変わりました。盗撮のニュースや新聞を見ても気持ち悪いという思いしかなかったです。ですが今日の公演で細かく事件の内容を聞いて、加害者の人はただの性的欲求を満たすだけが目的でしているのではないということ、母親からの抑圧などが原因になっているということ、など初めて知ったことがたくさんありました。だからといって盗撮などの性暴力をしてもいい理由にはならないし、被害者の人は一生心の傷を負うので、許されることではないと思います。ですが加害者の人はこんな思いだったんだと思うと、ニュースの見方が少し変わりました。また盗撮はスマートフォンの販売量と比例していると聞きました。一見全然関係ないことのように見えますが、こんなことも要因になっているのだと思うと難しいなと思いました。今日の公演で多角的な視点をもつことができたので、良かったです。
- ・講演会を通して、私にとって学びになったことは多角的な視点を持つことの大切さと自分の感想だけでなくなぜそうなったのかという過程を考えることの大切さです。多角的な視点を持つことで自分の一方的な意見だけでなく、関係者の心情などを踏まえた上での感想を持ちよりその記事について詳しく情報を得られることができると考えたからです。そして、ただ加害者が性的欲求で反抗に及んだのではなく、過去に母親から虐げられるといったストレスが大人になって弱い女性を対象に反抗を及ぶことでストレスが解消されるというようなケースもあると知り、加害者の過去についても知ることで犯行に及んだきっかけがより明確に理解できると考えたからです。私は今回学んだことを、日頃のニュースを見るときに考えたり来年の論文に向けての追求の仕方などに続けていきたいと思えました。
- ・私たちの身近にあるスマートフォンから得られる情報が事実かわからないし、その情報が全てでわないと改めて思いました。新風記者の方のお話を始めて聞いて、さまざまな工夫をされていました。私達が情報を得る手段が今では、SNS になってきているけど SNS になってきているけど、新聞のほうが記者が大変な思いをして作っているのより正確に情報を得られると私は今回の話を聞いて思いました。私の日常の中にも新聞を取り入れていくべきだと思いました。
- ・新聞を朝の NIE の活動で新聞を読むようになったけど、いつも読んだ時にその新聞記者はこんな考え方を持っているんだ。や、自分はこうしたらいいな。と思いながら読んでいるけど、今回この講演を聞いて、記事に載っている人（今回でいう被害者、加害者、加害者の知り合い、話を聞いた人など）の立場になって考えてみることは新聞を読むことにあったってその記事に興味を深めたりすることにつながるということを学びました。自分の視点だけではなく、いろんな人の立場になるということは日常の中であまりできない事だと思うので、新聞でこの取り組みをする事が大事だなと思いました。今後の NIE の活動に活かしていきたいです。
- ・今回の講演会を通して、物事の捉え方が変わった気がしました。僕の家でも神戸新聞をとっていて時々読むことがあります。その時には、一面など大きい出来事のニュースを中心に読むことが多くなかなか細かいページまでは目を通していませんでした。しかし、今回の授業で社会のあらゆる事象に疑問を持つことや多角的な視点を持つことが大事というお話をさせていただき学ぶことができました。なので、このことを実際に新聞記事を読んで実践していきたいと思います。また、情報の真偽についてもファクトチェックなどをして確かめられるようにしたいと思います

- ・情報の扱い方について深く学べたと思います。私はいままで、ひとつの情報に対して掘り下げることをしてこなかったから、プレゼンの時などに上手く伝えることができませんでした。ですが今回の講演会で深く掘り下げることの大切さ、やり方を学ばせていただいて、とてもためになるお話だったなと思います。文章を書くコツなども教えていただいたので、これからに活かしていきたいと思います。
- ・今までだったら被害者を見て事件について考えていたけど、社会には様々な人がいるので加害者側の考えや家族などの立場について考えることも大切だとわかりました。また、情報が色んな場所で手に入るのでデマやフェイクニュースには気をつけたいです。これからの生活では新聞やニュースを少しでも見て、社会の出来事を知っておきたいなと思いました。
- ・新聞の文はとても長く書かれていて何をそんなに書くのだろうと思っていただけれど、事件の被害者だけでなく加害者やその人と関わりが深い人など様々な目線からの話を聞くことでよりその出来事について分かったり想像できない新しい考え方などがわかると知って、自分も物事について考える時に参考にしたいと思いました。
- ・多局面から見ることの重要性に気づくことが出来ました。今までは、テレビや新聞で盗撮のニュースを見ても他人がしたことだし、と興味が湧きませんでした。ニュースで取り上げられるのは、加害者の名前や事件の動機だけで周りの人のことは考えたことがありませんでした。ですが、取り上げられない人たちのことを考えることが大切なことだと気づくことができました。日頃からニュースや新聞を多角的な視点で見ておくことで、日々の生活や勉強面において自分の思考を広げていくことができると思いました。
- ・講演会を通して、まず一つ目に社会の事象について疑問を持つことが大切だと学びました。今回紹介された盗撮の記事では、「気持ち悪い」などの感情のような考えから「なぜ盗撮を始めたのか。」のような疑問を持つことで、より深い情報を知ることができたり自分の考えが変わったりするを知りました。二つ目は、さまざまな角度から物事を見ることも大切であることを学びました。例えば、日常生活で気持ちを考えるのが大切であるように、自分とは違う視点から考えてみることも必要であると知りました。
- ・普段私は新聞を読まないけど、今回の講演を聞いて少し興味を持ちました。記者の人がどのように新聞記事を書き上げているのかが良く分かりました。私は「多角的な視点で」という言葉にとても重要性を感じました。多角的に物事を見ることによって、どんな立場の人でも読みやすく、興味を持ちやすい新聞になっているんだなと感じました。新聞の一つ一つの記事に内容、構成などの沢山の工夫がされていることが分かりました。
- ・私の新聞に対するイメージは、文字が多くて堅苦しくて読みづらいというような悪いイメージが多くありました。しかし、今回の講演を聞いて、一枚の紙面を埋めるにはたくさん現地にいたり、取材したりして、たくさんの時間と労力を削っていてすごいなと思いました。また、世間にデマを流さないように上司のかたから間違っていないか質問攻めされたり、記事を何度も見返したりしているときいて、新聞記者という仕事はとても大変なんだなと思いました。これだけ大変な仕事だからこそ一枚の新聞記事が完成したときの達成感はすごいのだろうなと思いました。

- ・今回の講演会を通して、新聞記事を書く時の大切なこととして、「社会のあらゆる事情について疑問を持つこと」で私は世の中に対しての関心が最近自分でも薄いなと感じていて、これから新聞を通して社会のあらゆる事情を知り、それに対しての疑問を持っていきたいと思いました。今回中田さんの実際にあった事例をもとに私たちに説明していただいて、色々な事件の深刻さも知ることができました。盗撮もやっている人の心理などに中田さんは興味があるとおっしゃっていて、確かに言われてみれば気になる。といったように自分が知らないことでもその知らないことを知ることによってそこから新たに疑問や関心が生まれることをもっと体験してみたいので新聞やニュースなどを読んで、知識を増やしていきたいと今回の講演会を通して学びとなりました。
- ・今日の講演会を通して新聞記者には「社会のあらゆる事象に疑問を持つこと」「弱い人の立場になって考えること」「多角的な視点を持つこと」の3つが大切なのだと知ることができました。講演の具体例とされた「盗撮」の取材では盗撮が10年間で2倍も多発していることが分かり、その中でも多いケースとして優越感やスリルを得ることによって達成感を感じる人が多いのだと学びました。盗撮は加害者、その周囲の人、被害者とそれぞれの思いがあるのでこれからそういった事件をニュースで見る時にはさまざまな角度から考えてみようと思いました。「ネット情報の向き合い方」では社会に広がる情報が事実かどうかを見極める（ファクトチェック）で「たくさん拡散された＝真実」とは限らないということを学びました。新聞記者にとって取材をする時には「いつ、どこで、どう思ったか」についてできるだけ詳しく聞くことが重要とされているそうです。記事を作成する時には一つの段落を長くしすぎず、場面を変えて読みやすく工夫をすることが大切だと知ることができました。
- ・今回の講義を通して、まず犯罪には加害者と被害者の視点があるということに気がつきました。今回の新聞の記事では盗撮についての加害者側に注目しているものであり、その加害者とその婚約予定だった女性の盗撮で捕まった後を書いていました。この記事を読み僕は今まで犯罪についてのニュースや新聞記事を見たときに被害者の視点に立って物事を考えることがほとんどでしたが、加害者にもそこに至るまでの人生があり、また犯罪をしいてしまったことを悔やみなんとか改善しようと努力している人がいるんだと気づけました。罪を恨んで人を恨まずという言葉があるように考えを改めようと思いました。今回メインで話されていた“盗撮“に関して私は最初「気持ち悪い」としか思えなかったし、「加害者の気持ちなんて正直知る必要がない」と思っていました。でも、今回のお話を聞いて“加害者“の人にも何かしらの理由や事情があり、“被害者“だけの取材ではその事件の全てを理解することはできないと知りました。その事件の裏に何があるのかを自分の一方的な感情と勝手な憶測で片付けずに、話をしっかりと聞くことが大切だと感じました。だからと言って、“盗撮“は話を聞いて許せるようなことではないし、記者の方が言っていたようにしっかり刑罰を受けるべきだとも思いました。スマホ普及率が高くなり社会が便利になる一方で、その便利を悪用化してしまう人が増えるのは悲しいことなので、それらの対策を考えていくことが大切なのではないかと思います。
- ・私にとって学びになったことはフェイクニュースを正しく判断できるようするためにいろんな立場から記事を読むことだ。また、このことをファクトチェックと呼ぶことも初めて知ることができた。記事やニュースで報道していることを全て鵜呑みにするのではなく、ほんまにそうなん？と疑問を抱いてみようと思った。いつも、ぼーっとニュースを見ているけどそういうことを意識して見るとさらにニュースが面白くなるのかなと思った。これから実践していきたい。